

基幹産業の技術革新に貢献する
自動精密鋸断業界のパイオニア

環境経営レポート

株式会社 荻下鋸断

2022 年度

(対象期間: 2022 年4月1日～ 2023 年3月31日)



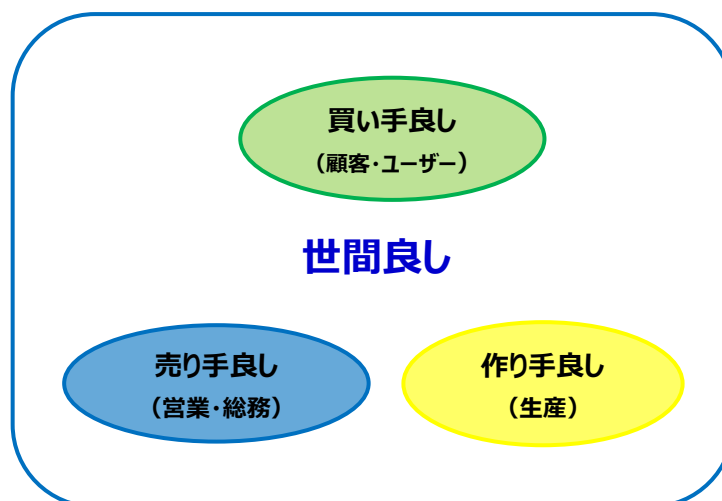
発行日: 2023年6月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11

経営理念

四方良しの精神



ごあいさつ

弊社は昭和11年の創業以来、日本における自動精密鋸断業のパイオニアとして、基幹産業の発展に貢献してまいりました。

令和3年11月には、厚板の総合加工拠点として「ちきり工場」（大阪府岸和田市）を建設し、材料から鋸断、製缶まで一貫してできる体制を構築しました。

これからもお客様のニーズに向き合いますと同時に、企業の社会的使命である環境問題にも真摯に取り組めます。

環境経営方針

株式会社荻下鋸断は、企業活動のあらゆる面で環境に対するきめ細やかな取り組みを行い、持続可能な循環型社会の実現に貢献します。

「四方よし」の経営理念の下、本業である鉄鋼鋸断を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 事業活動に関わる環境関連法規や条例及び当社が約束したことを遵守します。
2. 当社の事業活動から生じる環境負荷の低減に向けて次の項目について取り組みます。
 - (1) 電気、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物の削減、リサイクル
 - (3) 節水
3. 製品の回収に繋がるクレームの発生を撲滅するため製品の品質管理に努めます。
4. 生産工程の歩留まりを向上させ、環境に配慮した生産活動に取り組みます。
5. 環境保全活動の推進において地域社会との協調連帯を図ります。
6. 環境目標、経営計画を定め行動し、定期的に見直しを行ない、継続的な改善に努めます。



制定日：2022年6月27日

改定日：2022年8月16日

代表取締役社長 荻下 茂夫

組 織 の 概 要

1) 名称及び代表者名

株式会社菰下鋸断
代表取締役社長 菰下 茂夫

2) 所在地

本社・工場 大阪府貝塚市港14番地の2
二色材料倉庫 大阪府貝塚市二色南町5-4
研修棟 大阪府貝塚市北町30-19
ちきり工場 大阪府岸和田市岸之浦町13番13
北陸事業所 石川県能美市粟生町西132番地2
玉野事業所 岡山県玉野市田井6丁目9番2号
九州営業所 佐賀県三養基郡基山町大字小倉1030番2
東京営業所 東京都墨田区両国1丁目3番9号ムラサキ第Ⅱビル2階

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 福崎 康裕 TEL : 072-432-0369
担当者 総務部主任 上田 雄也 TEL : 072-432-0369

4) 事業内容

鋸断業及び鋼材の販売
配管工事用パイプ、継手及び付属品の製造並びに販売
金属工作機械の製造並びに販売

5) 事業の規模

売上高 110 億円 (2021年度)

従業員 207名	本社・工場	二色材料倉庫	研修棟	ちきり工場	
延べ床面積 25,611㎡	122 名	2 名	11 名	16 名	
	10,810 ㎡	1,493 ㎡	738 ㎡	6,482 ㎡	
	北陸事業所	玉野事業所	九州営業所	東京営業所	合計
	26 名	20 名	4 名	6 名	207 名
	4,033 ㎡	1,591 ㎡	367 ㎡	97 ㎡	25,611 ㎡

6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社菰下鋸断
対象事業所 : 本社・工場
二色材料倉庫
対象外 : 研修棟 2024年度拡大予定 北陸事業所 2025年度拡大予定
ちきり工場 2024年度拡大予定 玉野事業所 2025年度拡大予定
九州営業所 2024年度拡大予定
東京営業所 2024年度拡大予定
活動 : 鋸断業及び鋼材の販売、配管工事用パイプ、継手及び付属品の製造並びに販売
金属工作機械の製造並びに販売

□ 事業(製品)の紹介

弊社製品は造船、建設機械、製鉄プラント、工作機械、建築など産業の様々な分野で使用されています。
曲げ加工から切断(鋸断)後の各種加工製品にも対応しております。

工作機械 ATCアーム



環境プラント 破碎歯



輸送機器



射出成型機



造船 フライホイール



建設機械 ブラケット



プレス機



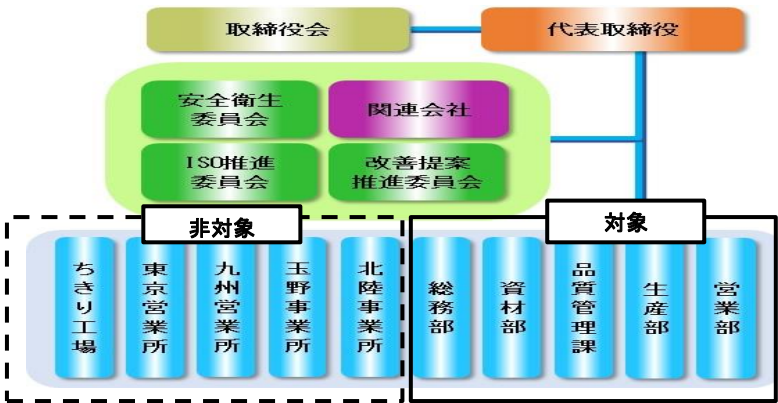
プレス機



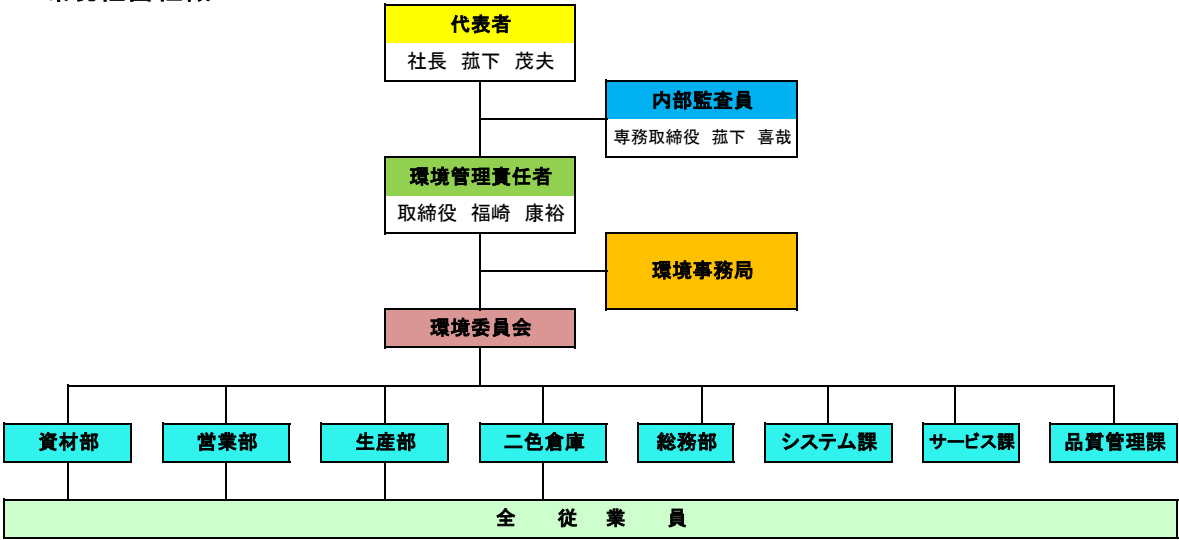
環境経営組織及び役割・責任・権限

会社組織図

更新日：2023年1月5日



環境経営組織



【役割分担表】

所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表者	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価 見直し指示
内部監査員	環境に関する内部監査の実施、代表者への報告
環境管理責任者	環境に関する事柄全体の把握、環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告
環境事務局	環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局、各種帳票の作成・データの取りまとめ、環境 経営目標・計画書案の作成、環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理、環境関連の 外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成、公開
環境委員会	環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、環境経営目標達成に向けた取組実施 環境関連法規等遵守の取組、緊急事態対応試行訓練の実施・記録、問題点の是正・予防
各部門	電力・水・社用車等燃料消費量、一般及び産業廃棄物の廃棄量・リサイクル率の管理 委員会からの連絡窓口、指摘・周知された事項について、各従業員へ周知
全従業員	環境方針の理解、取組の重要性を自覚、決定事項の遵守、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		1,659,312	1,704,115
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g		12,000	9,918
産業廃棄物排出量	Kg		13,520	9,670
水使用量	m ³		8,427	5,783
※電力の二酸化炭素排出係数（関西電力の2019年度実績に基づく調整後係数）			0.318	0.318
※2022年度のデータは期初から期の途中まで			関西電力	関西電力
※上記の二酸化炭素排出量にはLPGが入っておりますが、少量のため目標設定はしておりません。				

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

項 目		基準値	2022年		評価	2023年	2024年
			上段:	通期		原単位目標値は通期	
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	620,826	614,618	581,306	○	608,409	602,201
	基準年度比	2021年	99%	85%		98%	97%
	原単位 kg-CO ₂ /千円	0.122	0.121	0.104	○	0.119	0.118
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	890,099	881,198	934,276	×	872,297	863,396
	基準年度比	2021年	99%	96%		98%	97%
	kg-CO ₂ /千円	0.175	0.173	0.168	○	0.171	0.170
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	148,237	146,755	188,430	×	145,272	143,790
	基準年度比	2021年	99%	117%		98%	97%
	kg-CO ₂ /千円	0.029	0.028	0.034	×	0.028	0.028
一般廃棄物の削減	kg	12,000	11,880	9,918	○	11,820	11,760
	基準年度比	2021年	99%	83%		98.5%	98%
産業廃棄物の削減	kg	13,520	13,385	0	○	13,250	13,114
	基準年度比	2021年	99%	0%		98%	97%
水道水の削減	m ³	8,427	8,343	5,783	○	8,258	8,174
	基準年度比	2021年	99%	63%		98%	97%
	m ³ /千円	0.0017	0.0016	0.00104	○	0.00162	0.00161
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

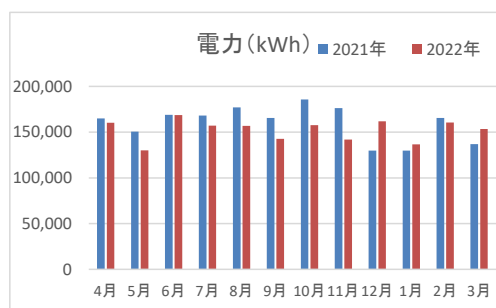
※化学物質の使用はない

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	節電シールを電気のスイッチ盤に掲示する等、全社員に対し日常的な節電を意識付けした。工場内でもレーザー切断機停止の際のドロップを励行した。 電力使用量は基準年度比減少し、売上高原単位評価の累計ベースで目標値をクリアしている。 <2023年度について> 各数値を全社員に開示し、節電に対する意識を浸透させる。
・原単位目標	○	
・節電の張り紙、ポスター掲示	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)、フィルターの定期清掃	○	
・不要照明の消灯、夜間、休日のパソコン、プリンターの主電源切断	○	
・工場内機械をムダに動かさない工程作り	○	
・レーザー切断機停止の際のドロップ	○	



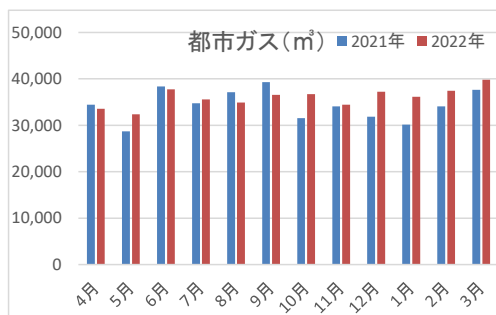
取組紹介欄

節電のステッカーを貼りました。蛍光灯の間引きを実施しています。



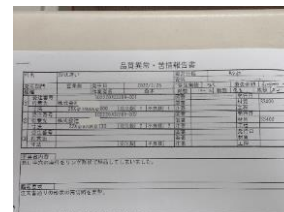
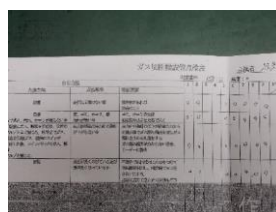
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	164,893	150,438	168,912	168,265	176,997	165,645	185,756	176,259	129,766	129,766	165,541	136,965
2022年	160,192	130,143	168,691	157,088	156,866	142,766	157,640	141,949	161,949	136,769	160,633	153,320

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	鋸断機の日々の点検を遵守すると同時に設計段階から歩留まり向上に取り組んだ。ガス使用量は基準年度比増加したが、売上高原単位評価では累計ベースで目標値をクリアしている。 <2023年度について> 加工ミスによるロスを削減し、生産性の更なる向上に取り組む。
・原単位目標	○	
・鋸断機の定期点検、整備	○	
・生産工程での歩留まり向上	○	
・加工ミスによるロス低減	○	
・品質管理の徹底	○	



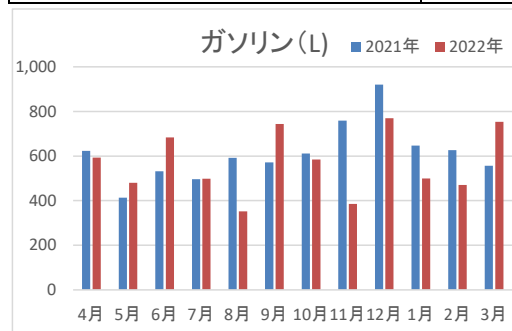
取組紹介欄

毎日ガス切断機設備点検表で点検、整備を確認。
品質異常があれば管理表で情報共有し、再発防止を図っています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	34,438	28,682	38,393	34,760	37,135	39,305	31,562	34,087	31,866	30,163	34,060	37,632
2022年	33,575	32,367	37,740	35,566	34,919	36,570	36,707	34,436	37,241	36,145	37,431	39,838

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	自社便を増やすと同時に効率的なルートの設定を実施した。社内便の運転手の増員で軽油使用量が増加し、目標値をクリアできなかった。 <2023年度について> 合積み、効率的な配送ルート、エコドライブで更なる削減に取り組む。
・原単位目標	×	
・エコドライブの浸透	○	
・効率的なルートで配送	○	
・更新時に低燃費車を選択	○	

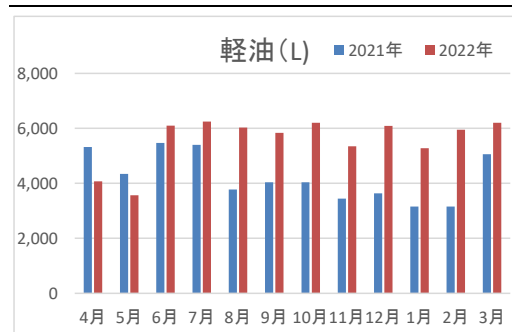


取組紹介欄

営業車はエコカー(ハイブリット車)を使用しています。
 運行日誌で訪問先や走行距離を管理しています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	623	413	532	497	592	571	612	759	920	646	626	557
2022年	593	480	684	498	352	744	584	385	770	499	470	753



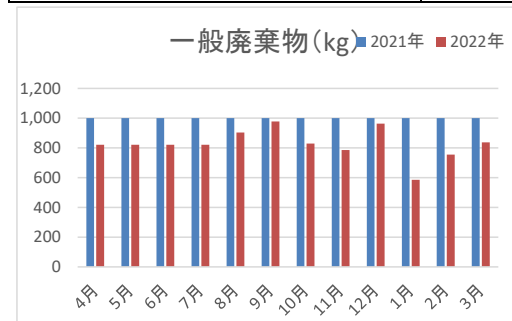
取組紹介欄

自社トラックでの配送に関する取り決め効率的な配送に努めています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	5,321	4,343	5,474	5,397	3,779	4,039	4,040	3,446	3,636	3,156	3,159	5,059
2022年	4,071	3,568	6,096	6,249	6,026	5,833	6,200	5,347	6,090	5,276	5,948	6,205

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	カン、ペットボトル、燃えるごみ別にゴミ箱を分けて設置し、ルールを周知した。基準年度比で減少し、累計ベースでも目標値をクリアしている。 <2023年度について> 分別によるリサイクル量の増加で更なる削減に取り組む。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・持込ごみの見直し	○	
・二色の浜ビーチクリーン活動への協賛と	○	



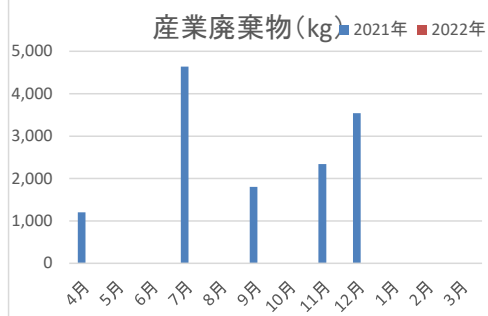
取組紹介欄

ゴミの分別回収を実施しました。
 毎週水曜日に本社周辺の清掃活動を実施しています。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
2022年	821	821	821	821	903	977	829	785	963	585	755	837

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	生産現場では「一作業、一片付け」を徹底し整理整頓を実行した。廃棄量は基準年度比で減少し、累計ベースでも目標値をクリアしている。 <2023年度について> 分別回収の仕組みを作り、廃棄量の削減に取り組む。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・リサイクル業者の見直し、選定	○	
・3S（整理・整頓・清掃）活動の実施	○	
・クリーンタイム活動の徹底	○	



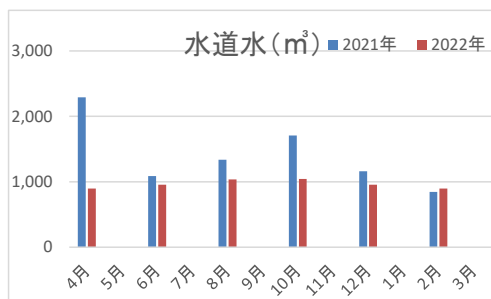
取組紹介欄

整理整頓された工場内。毎日13時から5分間のクリーンタイムを設けて全従業員が清掃を行なっています。産廃置場は種類毎に分別できるようにしました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,200	0	0	4,640	0	1,800	0	2,340	3,540	0	0	0
2022年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	節水シールで全社員に日常的な節水を意識付けした。使用量は基準年度比減少し、売上高原単位評価でも累計ベースで目標値をクリアした。 <2023年度について> 各数値を全社員に開示し、節水に対する意識を浸透させる。
・原単位目標	○	
・節水シールの貼り付け	○	
・ポスター掲示	○	



取組紹介欄

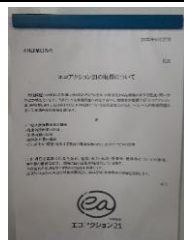
節水の手作りステッカーを貼りました。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	2,290	0	1,089	0	1,336	0	1,706	0	1,159	0	846	0
2022年	895	0	956	0	1,037	0	1,045	0	954	0	896	0

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・持続可能な原材料の採用	○	朝礼、各種会議、通達等でエコアクション21を社員に周知し、環境問題に対する意識の向上を図った。 <2023年度について> 進捗状況を開示し、全社員が共有することで実効性を更に高める。
・製品・情報の公開	○	
・廃棄率削減	○	
・全従業員の意識統一のため数値化、見え	○	
・取組みを外部に発信	○	

取組紹介欄
掲示板、電子掲示板でエコアクションの取り組みを発信し意識統一を図っています。



各事業所の取組紹介



<本社工場>

厚鋼板からご希望の形状の製品を精密自動ガス溶断いたします。

弊社では切断面粗度の改良と安全の向上を図るため、天然ガスを使用しています。

ガス溶断と共にレーザーを使用したレーザー切断も行っています。



<二色材料倉庫>

お客様のニーズにスピーディにお応えできる優れた品質の製品供給を支える為、弊社では常に厳選された素材の安定確保に努めています。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	工業専用地域にて非該当
振動規制法	工業専用地域にて非該当
大気汚染防止法	焼鈍炉、調質炉の設置
フロン排出抑制法	エアコン、コンプレッサー（エアドライヤー付属）
高圧ガス	液化酸素

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

取り組み期間中に苦情、要請はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震及び津波の発生	
■実施日： 2022年10月7日	■実施場所： 本社第一工場出荷ヤード
■参加者： 本社、関連会社従業員	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
地震と津波を想定した訓練を実施しました。館内放送で地震の発生を告げ、第1工場前に避難するようにアナウンスしました。部署毎に整列し、部署の代表者が人数を確認しました。社長からは訓練の重要性や日頃の心構えについて話がありました。その後、各部署の代表者は災害避難所の市立第一中学校まで歩いて避難ルートの確認をしました。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
短時間で従業員全員が集合場所に整列しました。各部署からの人数の報告も速やかに行なわれました。	
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

(会社の概要、業界の現状、EA21の取り組みを決めた理由、各取組と原単位で取組む理由、達成状況とその要因、次期への見直し・指示、将来の展望・抱負)	
当社は自動精密鋸断業のパイオニアです。	
事業を行なう上でガス鋸断には天然ガスが、レーザー切断には電気が不可欠になります。	
世界レベルで環境への取り組みが重要視される中、当社にも持続可能な循環型社会の実現に向けた二酸化炭素の削減が求められます。	
エコアクション21は、事業者等が環境への取り組みを自主的に行なう方法を定めた環境マネジメントシステムであり、当社としても登録と認証に向けて取り組むことにしました。	
ガス、電気等の燃料は、品質に係ることもあり、過度な使用抑制は基本的に難しい状況にあります。また、使用量と売上高は、原則として相関関係にあるので廃棄物以外の目標値は、売上高に対する比率の原単位としました。	
環境経営の推進により無駄を排除し、生産性を向上させ、企業価値の向上を目指します。	
2022年度は概ね計画値をクリアしました。	
2023年度は研修棟・調理室、ちきり工場、九州営業所、東京営業所を追加して活動の範囲を広げてください。基準年度の数値も追加する部署を含めた2022年度の数値とし見直してください。	
環境経営方針	☒ 変更なし ☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし ☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし ☐ 変更あり
代表取締役社長 菰下 茂夫	

これまでの環境活動の紹介

令和4年10月29日に貝塚市主催の「二色の浜 Autumn Beach Festa」に社員とその家族が参加し、砂浜の清掃を行ないました。当社は協賛企業として資金も出資しています。地域貢献活動として来年度以降も参加します。

